

「こんにちは！知事です」の概要  
つがる市立森田中学校（平成28年9月14日開催）

「こんにちは！知事です」は、知事が小・中学校の皆さんと交流し、将来への期待等について意見交換するものです。

つがる市立森田中学校は、平成28年度1校目の訪問となり、当日は生徒による合唱・学校紹介の後、全校生徒118名と知事が意見交換を行いました。

【発言生徒①】

僕の将来になりたい職業は、車のエンジニアです。小学校の授業で車のことを調べてから、車が好きになりました。エンジニアになるためには専門の高校に入る必要があるので、今は勉強を頑張っています。

青森県は自然が豊かで大変住みやすいところだと僕は思っています。ですが、若者が働く職場が少ないと思うので、大きな企業の本社や工場などを誘致すると、東京や都会に上京する若者が減り、県内で働く若者が増えると思います。

【知事】

車のエンジニアになりたいことや働く場のことの話がありました。実は青森県も、自動車本体ではないですが、部品関係ですごいものをどんどん造っています。とても質の良いセンサーやブレーキ関係のシステムなどが、青森県内で造られています。

自動車に関連する企業を増やすため、県では県内の企業に車の仕組みや部品の性能を学んでもらい、製品開発の参考にしてもらうための研修を、八戸工業大学で行っています。

県外では自動車関連技術の商談会を一生懸命行っています。また、もっと進んで飛行機に関連産業も引っ張ってこようとがんばっています。やはり働く場、いろんなタイプの働く場が大事だと思います。

知事になってから353社、青森県に来てもらいました。企業誘致は実は簡単ではなくて、来て、来てと言って来るものではなく、青森県はものすごく真面目に一生懸命働く人がいますよとか、工業団地がいっぱいありますよとか、支援の仕組みがいっぱいありますよとか、そういうことをキャンペーンしながらがんばっています。

【産業立地推進課職員】

- 皆さんのような、本当に真面目な人達が支えているのが青森県です。そして、今、交通アクセスも大変便利になって、新幹線で東京と3時間弱で結ばれるようになりました。

こういった青森県のいいところを、たくさん県外の企業にお話しをして、「自然豊かな青森県にぜひ工場を造ってください、事務所を開設してください」とお願いをしています。

- これから皆さんが、将来働きたいなど思えるような企業をもっともっと誘致してきますので、ぜひ将来は青森県で就職をしてください。



「こんにちは！知事です」の概要  
つがる市立森田中学校（平成28年9月14日開催）

【知事】

昔、有効求人倍率が0.29という時代に知事になりました。100人仕事を欲しい人がいると、29人分しかないという時代でした。今は1.10、つまり100人仕事を欲しい人がいると、110仕事があるという状況です。県のほかに、青森県の企業の方々や誘致企業（青森県に来てくれた企業）の方々が、子ども達にいっぱい青森に残ってもらおうということで、どんどん採用を増やす仕組みを作ってくれました。

でも、実は、私のしたい仕事は青森県にはないというようなミスマッチもあるんです。例えば、「ネイルアートとか眉毛カットを青森県でやってみたい」「高級サロンみたいなものを東京で勉強してきたからやりたい」と。どちらかという、県は自動車、飛行機あるいは半導体など、そういうハードの分野に力を入れていましたが、最近はそういうソフトの分野において、若い人達がいろいろなところで勉強をしてきて、技術を身につけて、青森県で仕事を起こす、仕事を始める、起業・創業と言いますが、そういったところにも寄り添って、サポートしています。銀行からお金を借りる段取りから、書類をいろいろ書いたりする手伝いをしたり、あるいは県で少しお金を援助したりなど、そういうことも含めてしっかりと今、進めています。

だから青森県、実は働くところがいっぱいあって、君達が起業・創業でがんばれる、そういうことができる時代になりました。

そして、企業誘致に歩くと、すごく言われることがあります。「青森の人はすごい」と。日本でもトップの経営者が、「青森はすごい。人財、人がすごい。青森に進出をしたら、故障したり壊れたりするのが10万個に1個とか、あるいは2ヶ月間、壊れたものが出ないくらい、そのくらいのもので作る人達ばかり」というふうにあちこちで宣伝をしてくれたぐらいです。すごく青森の人財は高く評価されています。



【発言生徒②】

私は、将来、幼稚園教諭になりたいと思っています。なぜになりたいのかというと、私は小さい子どもが好きだからです。

ニュースを見ていると待機児童のことがよく取り上げられていますが、青森県では待機児童はいますか。

また、幼稚園教諭や保育士の給料が安く、仕事を辞めてしまう人もいるそうです。私は、このままだと生活が厳しくなるのではないかと、将来がとても心配です。しかし、私はどうしてもこの職業に就きたいと思っているので、安心して仕事ができるようにするために、何か考えていることはありますか。

「こんにちは！知事です」の概要  
つがる市立森田中学校（平成28年9月14日開催）

【知事】

子どもが好きだということを書いてくれて、うれしいです。小学校、中学校、高校を訪れる際、学校の先生方に1つだけお願いしていることは、子どもが好きでたまらない先生でいてほしいということです。好きだからこそ、いろんなことができるし、がんばれると思うんです。ずっと子どもを好きでいてくださいね。

青森県では、待機児童は基本的にゼロです。途中で転勤をしてきたりなど年度途中でどこかないかといった時には、ちょっと待ってもらおうということがありますが、必ず解消できていきます。

青森県では、保育所と幼稚園を一体化した認定子ども園というものが今増えています。

保育士については、大都市が足りないからといって、我々のところにスカウトに来て、連れて行かれたりします。そうならないためにも、給与水準のこと等を含めていろんな段取りをしています。

【こどもみらい課職員】

- ・ 保育所を運営するためのお金というのは国の方でいくらと決めていて、保育所はその中でやり繰りをして保育士の給料を払っています。
- ・ 国では今、「日本一億総活躍プラン」の中に保育士の給料をアップするというものを位置づけて、保育士の給料をアップする来年度の予算を組むと言っています。
- ・ また、給料と併せて保育士が働きやすい環境、休みを取りやすいとか、そういった働きやすい環境も必要ですので、県では働く環境を整えるための支援も行っています。
- ・ それから、保育士になる方を増やすために、今年度から新たに保育士の学校に行くための資金を貸し付けして、5年間、県内の保育所で働くと借りたお金を返さなくてよいという仕組みもつくることにしています。



【知事】

修学資金もあるし、資格を取ったら青森県に残ってくれるとうれしいな。すごく勉強が必要だと思いますので、がんばってくださいね。

### 【発言生徒③】

私の将来の夢はいくつかありますが、その中で一番なりたいと思っているのは看護師です。ところで、私は2つ疑問があります。

青森県は日本一の短命県ですが、短命県を返上するためには、どのようなことをしたらよいのでしょうか。時々テレビで短命県返上をテーマにしたCM等が放送されていますが、具体的にどのようなことをしたらよいのかわかりません。

また、青森県は選挙の投票率も日本一低いです。どうしたら政治に目を向けてくれるようになるのでしょうか。今年から選挙権が18歳からになりました。私はどのくらい投票をしたのか、その人数まではわかりませんが、もっと政治に興味を持たせるべきだと思います。

私が選挙権を持てるまであと3年ありますが、その間、政治家の仕事内容や今の政治はどのような状況になるかなど、政治について勉強をしたいと思います。そして必ず投票をします。青森県がもっとよい意味で有名になるように、社会に貢献をしたり青森県の魅力を引き出せるようにしていきたいです。

### 【知事】

短命県の原因は、ズバリ、酒とタバコと塩です。

タバコの煙を吸っていると、肺の中にねばねばしたタールがたまって黒くなっていきます。タバコは怖いです。青森県は今、無煙世代、もうタバコを吸わない世代をつくろうと広めています。

青森県民は、心臓病、がんなど生活習慣病で亡くなっている方がとても多いんです。タバコと酒と塩、これらの摂取量が全国でトップクラスというのがもとになり、血圧が上がって心臓に負担がかかったりということになります。

酒とタバコはなかなか止められないので、少なくとも塩分を減らそう、塩分を減らすと結構血圧が下がるということで「だし活」という活動をしています。

スーパーをいっぱい回って歩いて、お母さん達に集まってもらって、だしを使って塩分が減ると血圧も下がって長生きしますよと、そういうPRも一生懸命行っています。

森田地区は食べ物がおいしすぎるでしょう？そのおいしいものを食べてもいいけれど、塩分を減らして食べる仕組みとか、あるいは野菜を多く使う仕組みとか、そういう健康づくりを森田地区はがんばっています。



「こんにちは！知事です」の概要  
つがる市立森田中学校（平成28年9月14日開催）

【五所川原保健所職員】

- ・ このつがる市を含む西北地域は、県内でも平均寿命を出すと少し悪い方になります。この地域の短命の原因は何だろうかと考えた時、若い人、40代、50代の人が増えているので、平均をとると短命であるということがわかってきました。
- ・ そこで、この地域では、若い人が働く場所を皆で回り、働いている人に健診を受けてもらって、生活習慣を体と一緒にきちんと見直してもらおうという取組を、昨年度から行っています。去年は50件弱、今年は80件の事業所を回って、皆さんのお父さん、お母さん世代の健康づくりに力を入れています。

【知事】

選挙についてはすごく実績が上がったので、もはや最下位とは言わせません。

【選挙管理委員会職員】

- ・ 投票率を上げようと、選挙管理委員会ではいろいろな活動をしています。
- ・ 駅などいろいろなところで投票をしてくださいというお願いをし、結果、万年最下位から27位に上がりました。投票率の伸び率は全国1位となりました。
- ・ 若い人の投票率はまだまだ低いので、皆さんのお兄さんやお姉さんなどで、もう18歳になって選挙権を持っている人がいたら、次の選挙の時には投票に行ってねと声をかけてもらえればうれしいです。
- ・ 皆さん、15歳になっている方は3年後に投票権を持つこととなりますが、平成31年は選挙が盛りだくさんで、参議院議員選挙とつがる市選挙と県議会議員選挙と知事選挙があります。18歳になっている方は投票をお願いします。



【発言生徒④】

私の将来の夢は警察官になることです。

青森県にはたくさん有名なものがありますが、それぞれの市町村では意外と知られていない美しい場所がたくさんあると思います。例えば、西北五地域で言えば亀ヶ岡遺跡や太宰治の記念館などがあると思います。このような場所をもっと全国に広めて、たくさんの人に青森を訪れてほしいと思っています。

【知事】

県では、実はキャンペーンをものすごく行って、どんどん青森の場所などをPRしています。

「こんにちは！知事です」の概要  
つがる市立森田中学校（平成28年9月14日開催）

【観光企画課職員】

- ・ 青森県では青森の良さをまるごと情報発信するということで、13年前から取組を進めています。
- ・ 知恵と足、体を使いながらPRをしています。東京に仲間たちが何人かいて、テレビやラジオ、雑誌に青森県を取り上げてもらうためにがんばっています。

【知事】

青森のテレビでは流れていなくても、東京とか大阪では2日に1回は青森の情報が流れています。この結果、たくさんの観光客が青森に来てくれて、去年は、初めて述べ宿泊者数が500万人を超えました。また、海外から来る方は11万人と前年比で60%増えました。クルーズ船なども22隻も来ていました。クルーズ船で3万人くらい来ていて、ホテルなどに泊まらないけれども、日中あちこち回って歩いて来ています。また、グリーンツーリズムというのですが、緑豊かな農村や山村、漁村に滞在して、その地域の豊かな自然や長い歴史に培われた文化、そして人々との触れ合いを楽しむ旅では、修学旅行生など国内外から約6000名、台湾から約300名とか、長期滞在で青森に来て来ています。

さらに、青森県三部作という映画を作ったりしています。一作目は「津軽百年食堂」で舞台は弘前。二作目は「ドロップキッカーズ」でカーリングをモチーフに舞台は青森。三作目は「ライアの祈り」で舞台は八戸。是川の縄文遺跡が出てきます。

【発言者5】

僕の将来なりたい職業は科学者です。

これからの青森県について考えると、青森県は他県と比べるとまだまだ魅力が少ないように感じます。そこで、青森県に来てみたいと思ってもらえるように、アピールできる何かを発展させてほしいと考えます。

僕は、新たな特産品、青森県にしかないものの開発などがいいなと考えます。知事は何か案をお考えでしょうか。

【知事】

全国的にも、アジアの中でも、青森県は注目をされていて、それでお客さんがものすごく増えています。

青森県は様々なキャンペーンをやっていますけれども、例えば、先ほども話した「まるごと情報発信」チームがB-1グランプリで優勝をした十和田のバラ焼きや、せんべい汁、黒石のつゆ焼きそばというような、なかなか他にはない青森県だけの魅力というものを発信してきました。また、ニンニクを黒ニンニクにして販売を世界に向けて行っています。ほかにも、昨年「ラブライブ！」ねぶたを運行したり、今年は「文豪ストレイドッグス」ねぶたを立佞武多祭で運行したり、工藤パンとコラボしたり、様々な工夫をして新しいキャンペーンの仕方を行っています。

「こんにちは！知事です」の概要  
つがる市立森田中学校（平成28年9月14日開催）

【観光企画課職員】

- ・ 若い人にも青森に観光に来てもらうために、「ラブライブ」や「文豪ストレイドッグス」とコラボレーションをしています。
- ・ それから、サイクルツーリズムとありますが、自転車に乗ってくるお客さん、長期で滞在してもらえるお客さんにアピールして、青森県に来てもらう活動をしています。
- ・ また、外国人のお客さんに来てもらうために、地域の資源をしっかりと作って、PRをする活動をしています。



【知事】

今日は長い時間、ありがとうございました。未来というのは、君たち一人ひとりに、責任があります。この青森の未来、日本の未来、世界の未来、それを実際に決めていくのは君達です。これから高校生になるためにいろいろな勉強をしなければいけないだろうし、高校に入っても勉強をしなければいけないだろうけれど、今、中学、高校で勉強したことが一番世の中に出て役に立ちます。自分も大学では、学んだというより出たというだけで、中学校、高校で勉強をしたことが一番役に立ちました。

それと健康づくりについて、タバコとか酒は君たちには関係ないけれど、中学生の時から食べ過ぎない、しょっぱいものを減らしていくとか、様々自分で考えて、自分の未来の健康をつくるということも大事だと思います。

我々、今日、県庁の職員が一緒に来ましたが、このふるさとでがんばれるぞ、ここで生きて良かったなという未来を君たちが過ごせるような下準備、土台づくりを一生懸命にしています。君たちが青森でも世界でもどこでも活躍をしてくれたらうれしいのですが、どんな時でもこの森田を、あるいはつがる市を、青森県のことを、「良かったな、あそこで育って、こういう同級生もいっぱい、いいな、楽しいな、良かったな」、そういう中学時代、高校時代をこれから送ってくれたらいいなと思っています。

ふるさとが大好きだ、そしてふるさとの未来と一緒に考えてくれる、そういう風に育ってくれたらうれしいと思いますし、今日は、我々が応えるのにタジタジとするほど、とてもしっかりとした意見や疑問を発言していただきました。

中学生はこういうことをまだ疑問に思っているんだなどと、課題にしっかりと応えていくことを約束して、知事からのお礼の挨拶とします。

今日は本当にありがとうございました。

「こんにちは！知事です」の概要  
つがる市立森田中学校（平成28年9月14日開催）

